

東北労働金庫「ろうきん地域貢献ファンド」 2008年度  
Aコース（企画事業・組織開発助成コース） 助成事業報告書

2009年4月24日

団体名 みやぎ夢燈花（みやぎゆめとうか）

事業名 みやぎ夢燈花2008

連絡担当者 石田 優光（いしだまさみつ）

イベント前日まで雨が降り一時は体育館の開催も考えたが予定通りグラウンドで実施した。今年のイベントは2年目を向かえたこともあり、事業の準備、当日、作業の撤収など、おおむね計画した内容で終了することができた。今年のイベント内容は、テーマ曲の披露、平和への誓い、と新しい試みも加えて実施した。また、聖和学園短期大学が実行委員となり、オリジナルの菓子の製造やゼミでのろうそく作りを積極的に行ってくれた。それでは今年新たに取り入れたものは、テーマ曲の披露、平和への誓い、命の輝き（啓佑学園のダンス）などについて紹介します。

〔テーマ曲披露〕

テーマ曲 「夢燈花—<sup>いのち</sup>生命の輝き—」



- ・作曲：伊藤 秀（キャリア開発総合学科2年）
- ・中学1年生からエレクトーンを習う
- ・聖和学園短期大学入学後、榊原光裕先生の授業「作詞・作曲の基礎」で作曲を学ぶ
- ・現在、東北大学エレクトーンサークルに所属し、各種イベントに参加

実行委員会に企画が出てきていろいろ検討した結果、伊藤秀さんをお願いすることになった。伊藤さんの話では、「全体の構想を練り、とくにメロディーラインにはこだわって、3ヶ月をかけて完成させました。イントロの部分は、生命の誕生と輝きをキャンドルの灯に託した企画の趣旨に添うように、音色の出し方を工夫された。」と話していた。非常に素晴らしい曲で「みやぎ夢燈花」を支え、これから輪を広げるために活用したい。

〔平和への誓い〕

これを実施するにあたり、どんな形式でどのように行うか、どの年代に誓いをしてもらうかなど色々悩んだが、実行委員の皆さんの意見を聞いたり、「いけだ夢燈花」で行っている内容を参考にして、今回実施したような形式に決まった。誓いを発表する部分を宮県啓佑学園の生徒さん、北・南中山小学校区育成会の代表の児童、そして英文で誓いする内容を聖和学園短期大学の学生さんの3つの段階に分けて実施した。私たちの願いが、県内は勿論のこと、全国にそして世界中に届き、争いが少しでもなくなることを願っている。

私たちの作ったろうそくを灯して、みなさんと一緒にこの町の「平和と安全」を祈りましょう。

私たちの社会に「平和と安全」が築かれ、地球上のすべての人々と助け合える、楽しい家庭生活、学校生活、社会生活が送れるように、このろうそくに気持ちを込めて祈りましょう。

Ladies and gentlemen!

What is peace? What does security mean?

Please deeply consider them again.

Hope together with us the torch of peace reach everybody and every child. Bloom the flowers of peace globally.

Murders have happened here in Miyagi recently. Indiscriminate murders have occurred in Japan nationwide. Some countries in the world are in warfare even now.

Send the torch of peace from here Miyagi to children all over Japan and all over the world. Send the message of peace and bloom the flowers of peace everywhere on this planet.

### 〔生命の輝き〕

昨年は、ダウン症の子どもたちのダンスだったが今年は、宮城県啓佑学園で光明養護学校の小学部や中学部、高等部の在籍している皆さんと先生方で元気に踊っていた。

イベント内容の他にも、新しい試みをいくつか行った。その一つが広く協力者を求めて応援チケットを販売した。チケット購入者には、聖和学園短期大学のキャリア開発総合学科の学生さんや職員が製作した「みやぎ夢燈花」のオリジナル菓子をさしあげた。

今年のモニュメントの昨年と同様に武藤修平さんが担当し、ろうそくの陳列のレイアウトは、非常に立体的であり幻想的な空間を作り上げた。夕闇に2008個の命の明かりが灯り見る者の感動を誘った。今年は更に、会場を提供してくれた仙台市立南中山小学校の協力があり、時間を区切って校舎を開放して校舎3階から全景が見学でき、見学者に講評だった。

今年使用したろうそくは、養護学校で障害のある生徒たち、南中山小学校4年生の、子どもたち、聖和学園短期大学のボランティアの学生、大和中学校の特別支援学級の生徒たち、地域活動として、障害のあるないにかかわらず子どもたちが一緒になって作ったろうそく2008本に夢と願いを込めて点火された。このことは、本事業の目的「障害のある青少年の社会参画」「障害のある子とない子の地域交流」「安全・安心の社会」作りが昨年よりも進んだと自負している。

今回の助成事業には、どのような形で、複数の団体の協働やボランティアの参加がありましたか？

- 1 ろうそく相关材料に関して  
ろうそく材料は、ホテル、お寺、葬儀屋、個人など多くの方々から提供を受けた。
- 2 ろうそく作りに関して  
南中山連合町内会皆さんをはじめ、特別支援学校、大和中学校特別支援学級、南中山小学校、聖和学園短期大学、北中山小学校区育成会、宮城県啓佑学園などの協力により2008個のろうそくを完成することができた。
- 3 運営協力について  
南中山連合町内会皆さんをはじめ、聖和短期大学のゼミ学生、地元南中山小学校おやじの会、東北福祉大学ボランティアサークルあおいやね、社会福祉協議会など総勢100名の協力者になった。
- 4 個人の協力者
  - (1) 命のオブジェ  
昨年引き続き山形県で美術教師をしている佐藤品子先生が協力してくれた。
  - (2) 司会者  
昨年は、スタッフの中から司会者をだしたが呼びかけたら地元南中山の米田裕子さんが協力してくれた。
  - (3) 命のストーリー  
募集や呼びかけにより3名（栗村明美さん、大越紀子さん、西村寛子さん）が協力してくれた。
- 5 詳細は、「みやぎ夢燈花2008」を運営して、を添付しますので参照にしてください。

当初の事業目的はどの程度達成できましたか

●申請書に記載した事業目的

当初は、「みやぎ夢燈花」を更に広報し、協賛者や協力者の増加を目的に進めていた。また、ろうそくづくりをとおして「命の大切さや尊さ」を理解させようと考えていた。

●目的の達成度（自己評価）

概ね目的が達成できたと考えている。特に南中山連合町内会を中心としたネットワークの構築は、イベントの計画から運営まで達成できたと思う。またヤフーのYouTubeに登録できネットワークが広域化した。

活動拠点である南中山町内会から一歩進んで活動範囲を北中山町内会にも広めることができ、次年度の向けて新しい課題も見つけることができた。

●達成できない部分があった場合には、考えられる原因をお書きください。

イベントを通して参加者に「命の大切さ」や「安全に意識の高揚」をもとめたが、大半がまつり気分が多く、開催の意図が伝わらない部分があった。それは、事前のピーアール不足が考えられる。次年度は、何か工夫をしたい。

<p>今回の事業は、団体の活動や、地域社会にどのような成果・効果がありましたか</p> <p>昨年度と比較すると、地域の参加体制がよくなり、多くの団体が組織に加わり事前準備、イベント運営、後片づけ等の協力が得られた。また、イベントでは、聖和学園短期大学が積極的な参加をいただき、テーマ曲や夢燈花菓子などの制作を始めとして、たくさんの方のボランティアを提供してくれた。</p> <p>地域社会にどのような成果・効果があったかと質問されれば、みやぎ夢燈花を通して色々な団体やサークルがお互いを理解し合い、自分たちの活動紹介の場となっていた。</p> <p>また、南中山町内会の地域性でもありますが、宮城県立光明養護学校と宮城県啓佑学園があり、障害のある子もいない子も共に活動することにより、子どもだけではなく、大人の人たちにも障害について理解を深める機会となった。</p>
<p>今回の助成事業を行って見えてきた課題は何ですか。また、その課題解決に向けて必要なものは何ですか。</p> <p>私たちの活動目標である「子どもたちの安全」を地域で守るコミュニティの実現や平和と安全を願う心の推進であるが、イベントが盛大になればなるほど、活動目標が希薄になるように感じる。そのためには、もう一度「みやぎ夢燈花」のビジョンを構築して組織で全員がビジョンづくりをしてそれを共有しなければならない。そのためには、組織や目的、及び将来に向けた組織作りを考える研修会を計画しなければならない。</p>
<p>今回の事業を、今後どのように展開していきますか。また、その際に必要なものは何ですか。</p> <p>今後はイベントの中で行っている「命のストーリー」の原稿を5年分まとめて冊子にして販売することや専門家に依頼してイベント写真を撮影してそれを写真集として販売する計画もしている。</p> <p>また、NPOの法人化を行い、事業の拡大（具体的にはまだ、）を考えている。この事業が泉区から発信した「みやぎ夢燈花」が仙台市全体に広まり、認知されたならば仙台市に働きかけ、仙台市の指定事業を受けられるように努力していきたい。</p>

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

### 収入の部

項目	金額（円）	内訳
ろうきん地域貢献ファンド助成金	250000	
みやぎ生協	50000	
チケットの券	100000	100枚販売
喫茶（カフェ）売上	48700	うどん、いなり、コーヒー
協賛金	80000	広告、祝儀
本務会計	46326	自己資金
合計	575026	

## 支出の部

項目	金額 (円)	内訳
ファンド助成 事務費	5 8 6 7 0	通信、文具、送料、その他
交通費	1 0 0 0 0 0	池田よりの親善大使旅費2名分
照明・音響	8 0 0 0 0	一括業者委託
みやぎ生協 謝金	5 4 0 0 0	コンサート、和太鼓、命のストーリー
助成以外 印刷費	9 2 3 5 2	しおり、ポスター、チケット、プログラム、
モニュメント材料	6 4 9 9 6	木材、合板、テープ、紐
カフェ材料	5 6 3 7 8	うどん、いなり、コーヒー
記録写真	6 8 6 3 0	印画紙 (A3版) インク
合計	5 7 5 0 2 6	

### <ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

イベントを行う上で最も重要なことは、費用をどのようにして集めるかという事だと思います。団体を立ち上げてまだ日の浅い「みやぎ夢燈花」に多くの皆さんが支援をしてくれています。今回は、経費のほぼ半分に当たるところをろうきんさんに支援をいただき感謝いたしております。今回のイベントを足場としてさらに前進できるよう努力していきたいと考えていますので今後も、ご支援を賜りますようお願いいたします。